

(3) 部屋で火災が起こったとき

初期消火

- ① まず、周囲に知らせる。119 番に電話する。
管理センターに連絡する。 火災報知器の非常ボタン
- ② 消火器など（ぬらしたタオル、座布団などでも）を使う。
消火に失敗したら、ガラス戸や窓を閉じて玄関から外に逃げる。
（煙や火を室外に出さないため、空気を入れないため、必ず玄関ドア
を閉めて逃げてください。）
- ③ 煙は有毒です。姿勢を低くして、口をハンカチなどで覆いましょう。



- ★火災が起こったら、まず大声で「火事だ」と叫んで、周囲に知らせます。
- ★119 番と管理センター（地震時ではないときは特に）に電話します。
管理センターへの連絡は、火災報知器の非常ボタンを押せばつながります。
電話番号：045-823-0211
- ★まだ天井に回っていない程度の火災なら、消火器などを使って火を消す努力をしてみましょう。落ち着いて立ち向かえば消せることがあります。
- ★消火器を火元の近く、ただし火元に邪魔されないところに、置いて、あわてずに、操作して、消火して下さい。
消火器の操作の仕方を練習できる機会があれば、慣れておいて下さい。
- ★火が大きくなって天井にまで届くと、消火器で消し止めることは難しくなります。そのときはもう、逃げるしかありません。
ベランダに可燃物を置かないようにしましょう。またガラス戸や玄関ドアをしっかりと閉めることで燃焼空気を遮断できます。これにより、上層階、隣戸など他の住戸への延焼を防止できます。
- ★玄関ドアを閉めることは、空気遮断と階段室への煙の流出を防ぎます。
（火災から避難する際、玄関ドアの鍵は掛けないで下さい。
施錠されていると、消火活動を妨げることになります。）
（3，4号館の各階段入口の階にある防火扉の使用も有効です。）